

富山市建設請負工事成績評定要領

(目的)

第1条 この要領は、富山市建設請負工事検査規程（以下「工事検査規程」という。）第9条第2項に規定する工事の成績評定（以下「評定」という。）に関し、必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定を行うことにより、もって受注者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

(評定の対象)

第2条 評定は、一の工事の請負金額が300万円以上の工事について行うものとする。ただし、工事検査課長が必要でないと認めたものについては、評定を省略することができる。

(評定者)

第3条 工事成績の評定者（以下「評定者」という。）は、監督員（主任監督員）、工事担当係長等及び検査員とする。

(評定の方法)

第4条 評定は、一の工事の完成ごとに行うものとする。

2 評定は、監督又は検査の結果により確認した事項に基づき、評定者ごとに的確かつ公正に行うものとする。ただし、一つの工事に評定者となる検査員が二人以上になる場合においては、それらの者が協議のうえ、評定を行うものとする。

3 工事成績の採点は、様式1「工事成績採点表」により行うものとする。

4 細目別評定点の算出は、様式2「細目別評定採点表」により行うものとし、別表1「項目別評定点」を作成するものとする。

5 監督員は別紙1、担当係長等は別紙2、検査員は別紙3（以下「考査項目別運用表」という。）により考査するものとする。また、別紙4「記入方法及び留意事項」及び富山市建設請負工事監督要領に定める別表1「施工プロセスのチェックリスト」を考慮するものとする。

6 工事における「工事特性」、「創意工夫」、「社会性等」に関して、受注者は当該工事における実施状況を様式3-1から様式3-3により提出できるものとし、提出があった場合は、工事の成績評定にあたって適切に反映させるものとする。

7 評定者は、「工事成績採点表」に「細目別評定採点表」、「項目別評定点」及び「考査項目別運用表」を添え、遅滞なく工事検査課長に提出しなければ

ならない。

(評定結果の報告)

第5条 工事検査規程第2条第2項、同条第3項及び第4条第1項による検査の評定結果は、工事検査規程第9条第1項に規定する検査内訳書(様式第4号)に記入し、「項目別評定点」を添付して、工事検査課長に報告するものとする。

(採点表の保管)

第6条 検査担当において、採点表を保管しなければならない。

(評定結果の通知)

第7条 工事検査課長は、検査員から評定結果の報告があったときは、当該工事の受注者に対して、評定の結果を工事検査規程第9条第3項に規定する検査結果通知書に記載し、「項目別評定点」を添付して、工事担当課長を経て遅滞なく通知しなければならない。

(説明請求等)

第8条 前条による通知を受けた受注者は、通知を受けた日から起算して14日以内(休日を含む。)に、工事検査課長に対し評定の内容について、様式4により説明を求めることができる。

2 工事検査課長は、前項の説明請求に対する回答をするときは、工事担当課長に意見を求めることができる。

3 第1項の説明請求に対する回答は、様式5によるものとする。

(再説明請求)

第9条 前条の規定による回答を受けたものは、回答を受けた日から起算して14日以内(休日を含む。)に、工事検査課長に対し様式6により再説明を求めることができる。

2 工事検査課長は、前項による再説明を求められたときは、工事成績評定審査委員会の審査を経て、様式7により回答するものとする。

3 前項の工事成績評定審査委員会は、別に定める「富山市工事成績評定審査委員会設置要領」に基づき設置するものとする。

(評定の修正)

第10条 評定者は、当該評定を修正する必要があると認められるときは、評定を修正しなければならない。

2 工事検査課長は、前項の修正が行われたときは、遅滞なく修正された完成検査結果通知書を当該工事の受注者に通知するものとする。

(評定結果の公表)

第11条 第7条により評定結果を通知したときは、その通知書の写しを文書公開総合窓口（市政情報コーナー）において閲覧できるものとする。

2 前項の閲覧期間は、公表した日の翌日から起算して1年が経過する日までとする。

3 第10条の規定により、評定を修正したときは、第1項の規定を準用する。

附 則

この要領は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年1月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成24年5月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成28年6月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

別表1

項目別評定点

評価項目	細 別	評定点／満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	／ 3.3 点
	II. 配置技術者	／ 4.1 点
2. 施工状況	I. 施工管理	／13.0 点
	II. 工程管理	／ 8.1 点
	III. 安全対策	／ 8.8 点
	IV. 対外関係	／ 3.7 点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	／14.9 点
	II. 品 質	／17.4 点
	III. 出来ばえ	／ 8.5 点
4. 工事特性 (加点のみ)	I. 施工条件等への対応	／ 7.3 点
5. 創意工夫 (加点のみ)	I. 創意工夫	／ 5.7 点
6. 社会性等 (加点のみ)	I. 地域への貢献等	／ 5.2 点
7. 法令遵守等 (減点のみ)		点
8. 総合評価方式等 (減点のみ)		点
評定点合計		／100 点

工事成績採点表

所属名: _____

年度	工事名													整理番号								
	受注者名													契約金額(最終)	円							
工期		～										完成年月日			検査年月日							
考 査 項 目		監督員 (主任監督員)					工事担当係長等							検査員								
		職・氏名					職・氏名							職・氏名								
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e		
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0		
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0									
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0									
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0		
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0		
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0			
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※1						～+20.0															
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2	～+7.0																				
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※3						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	-											
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		点					点							点								
評定点 (65点±加減点合計) ※4		①	点				②	点						③	点							
7. 評 定 点 計 ※4		点 (①×0.4 + ②×0.2 + ③×0.4)																				
8. 法 令 遵 守 等 ※5														点								
9. 総 合 評 価 方 式 等 ※6														点								
評 定 点 合 計 ※7		点 (評定点計 + 法令遵守等 + 総合評価方式等)																				
所 見 ※8		【監督員 (主任監督員)】							【工事担当係長等】							【検査員】						

各考査項目の採点は、監督員 (主任監督員) は別紙1-1～1-9-2、工事担当係長等は別紙2-1～2-6、検査員は別紙3-1～3-3-57によるものとし、検査員の評価に先立ち、監督員 (主任監督員) 及び工事担当係長等が記入する。
 ※1 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件 (構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等) に対して適切に対応したことを評価する項目である。
 評価に際しては、監督員 (主任監督員) からの報告を受けて工事担当係長等が評価するものとする。
 ※2 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。
 ※3 社会性等の評価では地域への観点から加減点評価のみとする。
 ※4 各評定点は小数第1位まで記入する。
 ※5 法令遵守等の評価 (減点) は、工事担当係長等が行う。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。
 ※6 総合評価方式等の評価 (減点) は、工事担当係長等が行う。
 ※7 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
 ※8 所見は必ず記載する。

様式 2

細目別評定採点表

項目	細別	①監督員（主任監督員）	②工事担当係長等	③検査員	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点			点 / 3.3 点	%
	II. 配置技術者	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点			点 / 4.1 点	%
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点		<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 13.0 点	%
	II. 工程管理	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/> × 0.2 + 3.2 = 点		点 / 8.1 点	%
	III. 安全対策	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/> × 0.2 + 3.3 = 点		点 / 8.8 点	%
	IV. 対外関係	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点			点 / 3.7 点	%
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="text"/> × 0.4 + 2.8 = 点		<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 14.9 点	%
	II. 品質	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点		<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 17.4 点	%
	III. 出来映え			<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 8.5 点	%
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		<input type="text"/> × 0.2 + 3.3 = 点		点 / 7.3 点	%
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点			点 / 5.7 点	%
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		<input type="text"/> × 0.2 + 3.2 = 点		点 / 5.2 点	%
7. 法令遵守等（減点方式）			<input type="text"/> × 1.0 = 点			点
8. 総合評価方式等（減点方式）			<input type="text"/> × 1.0 = 点			点
					評定点合計	点 / 100 点

※ 内の配点は、別紙 3（考査項目別運用表）による。

(宛先) 監督員

商号又は名称

現場代理人

工 事 名

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書（土木工事）

項目	評価内容	備 考
<input type="checkbox"/> 工事特性 施工条件等への対応	<input type="checkbox"/> 構造物の特殊性	施工規模が特殊な工事 複雑な形状の構造物
	<input type="checkbox"/> 都市部等の作業環境、社会条	地盤の変形、近接構造物、地中構造物への影響 周辺環境条件による作業条件、工程への影響 周辺住民等に対する騒音・振動への配慮 現道上での交通規制による影響 緊急時の対応が必要な工事 施工個所が広範囲にわたる工事
	<input type="checkbox"/> 厳しい自然・地盤条件	特殊な地盤条件への対応 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 動植物等の自然環境の保全への配慮
	<input type="checkbox"/> 長期工事における安全確保	1 2 か月を超える工期で事故なく完成し、作業条件により安全確保に苦慮した工事
	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 創意工夫 自ら立案実施した創意工夫や技術力	<input type="checkbox"/> 施工関係	施工に伴う機械、器具、工具、装置類、二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫、施工環境の改善 仮設工の工夫、施工機械の工夫 特殊な工法や材料の使用 優れた技術力または能力として評価できる技術による施工
	<input type="checkbox"/> 施工管理関係	施工管理の工夫（現場管理、施工計画、写真管理） 計測関係の工夫、集計及び管理図の工夫 C A D 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用、I C T を活用した情報化施工
	<input type="checkbox"/> 新技術活用	富山県認定リサイクル製品・トライアル発注商品・県内産木材を使った製品の積極的活用 N E T I S 登録技術の積極的活用
	<input type="checkbox"/> 品質関係	品質管理の工夫（土工、コンクリート打設等） 二次製品等の使用材料の工夫 配筋・溶接作業等に関する工夫
	<input type="checkbox"/> 安全衛生関係	安全施設・仮設設備の配慮 安全教育・講習会・パトロール・墜落制止用器具使用等の工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫 現場での地球環境への配慮
<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 社会性等 地域社会や住民に対する貢献	<input type="checkbox"/> 地域への貢献	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション 地域が主催するイベントへの積極的参加 地域に密着した定期的な清掃活動等の実施 災害時における地域への援助・救援活動

1 該当する項目の□にチェックを入れてください。

2 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況について、写真・ポンチ絵等を用いた具体的内容の説明資料（様式 3 - 3）を添付してください。

(宛先) 監督員

商号又は名称

現場代理人

工 事 名

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書（建築工事）

項目	評価内容	備 考
<input type="checkbox"/> 工事特性 施工条件等への対応	<input type="checkbox"/> 建築の特殊性	対象建物の規模が特殊な工事 対象建物の耐震レベルが高い工事 対象建物の機能が特殊な工事
	<input type="checkbox"/> 都市部等の作業環境、社会条	近接構造物、地中構造物への影響 周辺環境条件による作業条件、工程への影響 周辺住民等に対する騒音・振動への配慮 周辺水域環境に対する水質汚濁への配慮 施工状況や施工条件に対応した工法が必要な工事
	<input type="checkbox"/> 厳しい自然・地盤条件	湧水の発生等、地下水の影響が大きい工事 軟弱地盤等、支持地盤の影響が大きい工事 雨・雪・風・気温等の自然条件の影響
	<input type="checkbox"/> 長期工事における安全確保	1 2 か月を超える工期で事故なく完成し、作業条件により安全確保に苦慮した工事
	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 創意工夫 自ら立案実施した創意工夫や技術力	<input type="checkbox"/> 施工関係	施工に伴う機械、器具、工具、装置類、二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫、施工環境の改善 仮設工の工夫 既存施設・近隣等に対する騒音振動対策の工夫 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 特殊な工法や材料の使用 優れた技術力または能力として評価できる技術による施工
	<input type="checkbox"/> 施工管理関係	出来形管理等に関する工夫、施工計画書・写真管理等の工夫 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 C A D 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用、I C T を活用した情報化施工
	<input type="checkbox"/> 新技術活用	富山県認定リサイクル製品・トライアル発注商品・県内産木材を使った製品の積極的活用 N E T I S 登録技術の積極的活用
	<input type="checkbox"/> 品質関係	品質管理の工夫（躯体工事等） 材料・施工の検査試験に関する工夫 品質記録方法の工夫
	<input type="checkbox"/> 安全衛生関係	安全施設・仮設設備の配慮 安全教育・講習会・パトロール等の工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫 現場での地球環境への配慮
<input type="checkbox"/> 社会性等 地域社会や住民に対する貢献	<input type="checkbox"/> その他	
	<input type="checkbox"/> 地域への貢献	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション 地域が主催するイベントへの積極的参加 地域に密着した定期的な清掃活動等の実施 災害時における地域への援助・救援活動

- 1 該当する項目の□にチェックを入れてください。
- 2 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況について、写真・ポンチ絵等を用いた具体的内容の説明資料（様式 3 - 3）を添付してください。

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

工 事 名			
項 目			
提案内容		評価内容	
(説 明)			
(添付図)			

説明資料は簡素に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

活用効果調査表（施工者希望型 受注者提出用）

※「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書」に添付

※記入要領

- ①すべての調査項目について調査を行ってください。
ただし、その他については、内容の記載した場合に、評価点へのチェック（○で囲む）を行ってください。
- ②調査項目はすべて必須記入です。
- ③定性調査内容に対する評価点は5段階評価とし、該当する評価点をチェック（○で囲む）してください。

従来技術に比べ優れている。	(+2)
〃 やや優れている。	(+1)
〃 同程度である。	(0)
〃 やや劣っている。	(-1)
〃 劣っている。	(-2)
- ④記載している項目に該当がない場合は、「その他追加調査した結果」に追記してください。
- ⑤評価できない項目がある場合は、0で評価してください。
- ⑥評価点は調査内容ごとに合計点を算出し、計算式に従って算出してください。
- ⑦各所見（調査結果）欄に、採点をした理由等の所見を記入してください。
- ⑧高い評価点及び低い評価点をつけた場合には、その理由を留意点に記載してください。

(工事番号)		(工事名)		
調査者		(受注者名・氏名・連絡先)		
NETIS登録技術名称		登録番号		
従来技術				
当該現場条件	自然環境 (騒音、振動、水質等)			
	周辺環境 (病院、学校、鉄塔の有無等)			
	現場条件			
I 経 済 性	・単位当りの関係するコスト（施工費、維持管理費等）と従来技術を使った概算コスト比較する。			
		従来工法	新技術	コスト差
	単位数量当り	千円	千円	千円
	評価点（0～200点） $= 100 + 100 \times \text{コスト差割} / \text{従来技術コスト}$ =			
	調査結果			
II 工 程	・従来技術と新技術の対応する施工サイクルについて施工単価当りの実施施工日数と従来技術の施工日数（概算）を比較する。			
		従来技術	新技術	短縮日数
	単位数量当り			
	評価点（0～200点） $= 100 + 100 \times \text{短縮日数} / \text{従来技術の施工日数}$ =			
	調査結果			

III	品質・出来形	調査内容		評価点				
		品質は向上したか		+2	+1	0	-1	-2
		出来形・精度は向上したか		+2	+1	0	-1	-2
		耐久性が向上する構造になったか		+2	+1	0	-1	-2
		品質・出来形の管理項目は減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		品質・出来形の管理頻度は減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
				得点 :				
				評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =				
		調査結果						
IV	安全性	調査内容		評価点				
		墜落・転落事故の危険性が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		重機災害の危険性が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		飛来・落下物災害の危険性が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		作業環境が向上したか (暗がり・騒音・狭所作業等の現象)		+2	+1	0	-1	-2
		危険物等の取り扱いが減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
				得点 :				
				評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =				
		調査結果						
V	施工性	調査内容		評価点				
		現場での施工が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		仮設工が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		作業員が容易になったか		+2	+1	0	-1	-2
		熟練度に依存した工程が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		施工の機械化の程度は向上したか		+2	+1	0	-1	-2
		施工時の制約条件が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
				得点 :				
		評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =						
		調査結果						
VI	環境	調査内容		評価点				
		周辺の大気汚染・土壌汚染・水質汚染が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		騒音・振動・粉塵等が減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		周辺の自然・生態環境・景観との調和は向上したか		+2	+1	0	-1	-2
		産業廃棄物の発生量は減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		危険物等の取り扱いが減少したか		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
		その他 ()		+2	+1	0	-1	-2
				得点 :				
				評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =				
		調査結果						

		調査内容	コメント
VII その 他		その他 ()	
		その他 ()	
		その他 ()	
		調査結果	
具体的な所見			
その他追加調査した結果			
<p>【NETIS資料・施工状況等の写真】 (適宜別紙可)</p>			

様式4

年 月 日

(宛先) 富山市長

住 所
氏 名
電話番号

工事成績評定結果に関する質問票

1 工 事 名

年度

工事

2 質 問 内 容

様

富山市長



工事成績評定に係る説明書（回答）

年 月 日付けで貴社から質問のありました評定内容について、次のとおり回答いたします。

この説明書に疑問があるときは、本市に対して、本書面の回答を受けた日から起算して14日（休日を含む。）以内に、その疑問の旨を書面により再説明を請求することができます。

疑問の旨に対する再説明は、書面により通知いたします。

記

1 工事名

年度

工事

2 疑問に対する回答

3 問合せ先（送付先）

〒930-8510 富山市新桜町7番38号

富山市役所財務部工事検査課（TEL 076-443-2212）

様式6

年 月 日

(宛先) 富山市長

住 所
氏 名
電話番号

工事成績評定結果に関する再質問票

1 工 事 名

年度

工事

2 質 問 内 容

様式7

工 検 第 号
年 月 日

様

富山市長



工事成績評定に係る再説明書（回答）

年 月 日付けで貴社から再説明を求められた評定内容について、
次のとおり回答いたします。

記

1 工事名

年度

工事

2 疑問に対する回答

（担当）財務部工事検査課

TEL 076-443-2212